

▶ スコアボード ◀

ルヴァンカップ準決勝
10月14日(日) 14:00 K/O ニッパツ三ツ沢
横浜F・マリノス vs 鹿島アントラーズ

横浜招待少年サッカー大会
12月8日(土), 9日(日)

D級講習会
12月15日(土), 16日(日) しんよこFP



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
編集 同 広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL(045)474-4315 FAX474-4316
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0739 FAX227-0785



日韓ジュニア大会 開会式



日韓ジュニア大会 閉会式



日韓ジュニア大会 レセプション

夢を託す交流戦

日韓親善ジュニア大会

2018日韓親善ジュニアサッカー大会は、8月7日から10日までの4日間、韓国の仁川広域市のジュニアサッカーチームを招き、開催された。

横浜市と韓国の仁川広域市は、2002年のFIFAワールドカップの日韓共催を記念して、ジュニアサッカー

チームの相互派遣を行っているもので、今年度もサッカーを通じて相互理解を深めるとともに、少年たちの将来の夢を託した大会が行われた。

仁川広域市のジュニアサッカーチームは7日に来日、8日、9日にニッパツ三ツ沢球技場で大会を行い、10日に市内観光を行った。8日、試合前の開会式で直井ユカリ横浜市民局スポーツ振興部長は、「お互い、将来はプロ選手になって世界で戦おう」という、前日のレセプションでの横浜チームのキャプテンの言葉を紹介、「将来、その時が来たら記憶に残るいい試合だったと語れるように頑張ってもらいたい」と、少年たちへの夢を応援して激励した。

大会は、横浜から選抜チームA、Bの2チームが参加して2日間で6試合が行われた。結果は次の通り。

〔第一日目〕

横浜選抜 A	8-0	仁川
横浜選抜 B	7-0	横浜選抜
横浜選抜 A	0-4	仁川
横浜選抜 B	2-3	仁川
横浜選抜 A	3-0	仁川
横浜選抜 B	6-0	横浜選抜

〔第二日目〕

横浜選抜 A	2-1	仁川
横浜選抜 B	0-1	仁川

港南区選抜が制覇

第2回 区選抜少女サッカー大会

～ニッパツ横浜FCシーガルス杯～



第2回横浜市区選抜少女サッカー大会(ニッパツ横浜FCシーガルス杯)は、7月1日、7日、14日の3日間にわたり繰り広げられた。

同大会は、16区(合同チームも含む)が参加。4区ずつ4ブロックに分けて予選リーグを戦い、各ブロックの1位、2位が順位トーナメント戦を行い、最終日の14日、ニッパツ三ツ沢球技場で3位決定戦、決勝戦を行った。

決勝戦は、予選リーグ、順位トーナメントともに無失点で勝ちあがってきた港南区選抜が緑区選抜を2-0と無失点で下し、優勝した。3位決定戦は、泉区選抜が青葉区選抜を2-1で下した。

U12の部(順不同)

- ・あざみ野FC
- ・横浜港北SC
- ・SCH.FC
- ・今宿少年SC
- ・パデューISC
- ・FCカルパ
- ・U10の部(順不同)
- ・パデューISC
- ・SCH.FC
- ・あざみ野FC
- ・FCカルパ
- ・JFC.FUTURO
- ・品濃ウィングス

横浜社会人選抜が争奪

第57回 日朝親善サッカー大会



第57回横浜市長杯争奪日朝親善サッカー横浜大会は、8月18日に三ツ沢陸上競技場で行われた。

同大会は、サッカーを通じて、日朝両国民の友好を深めることを目的に毎年開催されている大会で、今年も57回目となる。

交流試合として横浜社会人選抜B対神奈川高麗FC、そして横浜市立中学校選抜対神奈川朝鮮中級学校が行われた。

横浜市長杯争奪戦は、優勝杯返還、花束贈呈のセレモニーのあと、横浜社会人選抜A(エスペランササッカークラブ)対神奈川朝鮮蹴球団の横浜市長杯争奪戦が行われた。横浜社会人選抜Aが試合の大半を支配し、前半に挙げた3点を守り切り、3対1で神奈川朝鮮蹴球団を下して、昨年度に続き連覇した。

試合結果は次の通り。

横浜社会人選抜B 1-2 神奈川高麗

とにかく暑かった夏が過ぎてようやく一息つける季節になってきた。毎日のように熱中症患者のニュースを耳にした。幸い身近で熱中症になったという話はなかった。暑かっただけでなく6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、8月の台風21号、9月の北海道胆振東部地震と自然災害のニュースが多かった。甚大な被害や、残念なことに亡くなられた方が出た。改めて自然の驚異を感じた。阪神淡路中越、東日本と大地震の記憶があり、少しは非常食等も準備していたが、準備しただけで終わっていたので、この機会に点検、補充をした。横浜市のホームページには地震、洪水、土砂災害、液化化等のハザードマップが出ているので、自分のところの状況を把握しておくことも大事だと思う。準備したものを使わないで済めば一番だが、万が一の時に後悔しないように備えておくことが、被災された方からの教えだと思う。(T)

ハーフタイム

とにかく暑かった夏が過ぎてようやく一息つける季節になってきた。毎日のように熱中症患者のニュースを耳にした。幸い身近で熱中症になったという話はなかった。暑かっただけでなく6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、8月の台風21号、9月の北海道胆振東部地震と自然災害のニュースが多かった。甚大な被害や、残念なことに亡くなられた方が出た。改めて自然の驚異を感じた。阪神淡路中越、東日本と大地震の記憶があり、少しは非常食等も準備していたが、準備しただけで終わっていたので、この機会に点検、補充をした。横浜市のホームページには地震、洪水、土砂災害、液化化等のハザードマップが出ているので、自分の状況を把握しておくことも大事だと思う。準備したものを使わないで済めば一番だが、万が一の時に後悔しないように備えておくことが、被災された方からの教えだと思う。(T)



日朝戦ゴールシーン

猛暑の中で奮戦!!

シニアチームが訪韓

神野京一記



恒例となった横浜サッカー協会のシニア遠征は、2018年7月21日から23日にかけて行われた。

折しも日本列島各地で40℃を超える猛暑が続いており、韓国ソウルも同じく37℃が予想される中、曇一つない晴天で試合は実施された。

試合会場は2年前に行われたソウル近郊の高台で、緑に囲まれた大学の人工芝であった。相手チームもこの地区を活動拠点としている強豪の城北シニアサッカークラブで、今回30人ほどが集まって、手ぐすねを引いて待っていた。我が横浜チームは山本前専

務が故障で欠場することになり、Nさんご子息とその友人の若手2人と相手チームから1人をお願いして、ぎりぎりのメンバーで戦うことになった。更には、猛暑という条件で相手チームと調整し20分を2本、15分を2本で行った。10時開始の1本目時には、すでに30℃を超えていたが、湿度が日本より若干低い様で気温の割には、動けたようだったが、連携がうまく出ないまま、ディフェンス、GKのミスで失点をしてしまい、その後、反撃したが、得点ならず、1本目は0対1で終えた。

2本目は若手の個人技と頑張りで1点を返すが、反撃にあい失点、2本目は1対1のドローで終えることで、後半戦への反撃に期待が持てた。3本目は、少しポジションを変え、若手中心で攻撃的に仕掛けたが、ぎりぎりのメンバーと、この猛暑で疲労が重なり、サイドを崩されて2失点、MさんのPKで1点返したものの3本目は1対2の負け試合だった。

最後の4本目は攻撃を繰り返して、惜しいチャンスも多かった中、ついに若手のヘッドで1点先取したが、サイドからの逆襲で1失点してしまい、1対1で試合は終了。4本合計での結果は「3対5」となった。勝利することはできなかったが、随所に好プレーがあり、皆さん、疲労の中にも満足そうな顔が印象的だった。

試合後は、近くの銭湯で汗を流してから、近くの海鮮料理店で、日韓合同の懇親会が行われた。懇親会では、お互いに同年代ということで、片言の英語を駆使し、年齢や仕事、家族等、サッカー以外の話でも大いに盛り上がり、試合の疲れや時間を忘れてしまったようだった。来年の再開を約束して、宴会場を後にした。

中でも、フットボールの分野では、競技力向上をめざし、2012年にはアマチュア最高峰のJFL参戦、2014年に

Y.S.C.C.

今年度から参入 Fリーグで健闘!!

日本のフットサルリーグ・DURIIG Fリーグ(12クラブ)に、今年度から新設されたFリーグデビジョン2(7クラブ)に、横浜からY.S.C.C.が参入し熱い戦いを行っている。

「の健全育成」をキーワードとして発足。以来、スポーツ活動を通じて、街の課題解決を念頭に「地域はファミリー」をスローガンとして、地域の皆さまや子どもたちの心と体の健康を提供すること、そして、街が元気に活気づくことを理想として、街で暮らす市民の健康作りに邁進しております。

吉野次郎理事長の挨拶
我々、Y.S.C.C.は、1986年に「地域・子どもたち」の健全育成」をキーワードとして発足。以来、スポーツ活動を通じて、街の課題解決を念頭に「地域はファミリー」をスローガンとして、地域の皆さまや子どもたちの心と体の健康を提供すること、そして、街が元気に活気づくことを理想として、街で暮らす市民の健康作りに邁進しております。

は、聖地三ツ沢をホームスタジアムとして、国内最高峰のJリーグに参戦させていたいただき、参入に際しては、「Jリーグの理念をJリーグ創設前から実践しているクラブ」として、リーグより評されました。そして、2018シーズンからは、もうひとつのフットボール、「フットサル」の国内最高峰「Fリーグ」に横浜から唯一の参戦。現在2位と快進撃です。公益財団法人横浜市体育協会さまのご協力により、平沼記念体育館をホームアリーナとしてリーグを戦っていますので、Jリーグ共々、是非応援にお越しく下さい。



YFASAスーパーキッズゲームサッカーフェスティバルGoa131は9月16日、しんよこフットボールパークで行われた。今回の大会には、個人参加も含め50チーム、583名の元気なちびっ子選手が参加。ゴールをめざして一つのボールを蹴り合うちびっ子選手たちに父母の熱い声援が送られていた。

熱い声援を受け キッズ大会開催

初の日本人理事長

細貝 貞夫氏が就任

1868年に創立された日本最古のスポーツクラブ、横浜カントリイ&アスレティッククラブ(YC&A)の理事長に私たちのサッカー仲間である細貝貞夫さんが就任、初の日本人理事長が誕生した。

YC&Aは1868年に現在の横浜公園近くで外国人専用のスポーツクラブとして

創立150周年を迎え

地域交流、活性化めざす

細貝理事長は、中区の本牧出身で小学時代からサッカーを始め、中学からクラブチームで活躍。YC&Aのセカンドチームと対戦したこともある。大学時代に横浜サッカー協会からYC&Aの子どもたちの指導者として派遣さ

れ「アルゼンチン、フランスなど多くの海外の子どもたちの指導をし、貴重な経験をさせてもらった」と、YC&Aの関わりについて語る。

1980年にYC&Aの少数ない日本人会員となり、企業に勤める傍ら週末には仲間とサッカーを楽しむ。「ライバルチームの神戸レガッタアンドアスレチッククラブに大勝したことがあります」と、クラブ生活の中の楽しい思い出を語る。そして、今年4月に日本人として初の理事長に就任した。その重責を担う

細貝理事長は「今は、日本人会員は三分の一位となっております。会員数は約700家族。今後、1000家族位まで増やしたい。若い家族の方々に会員になってもらいたい」と、伝統あるクラブの安定した運営を行いたいと語る。

YC&Aと横浜サッカーとの関わりも深い、Jリーグ発足前は、日産、日本鋼管、全日空などの日本リーグのクラブチームとの交流試合も多く行われ、横浜サッカーの発展にも貢献してきている。現在は、公益社団法人として、Y.S.C.C.や横浜F・マリノス・U-18にグラウンドを貸すなど地域へのグラウンド提供や交流を行っている。

今年、創立150周年を迎える細貝理事長は「少年からシニアまでのサッカー大会で地域交流を深めるイベントを行いたい」と、日本最古のスポーツクラブとしてメンバーが楽しみに、地域との交

「日本最古のサッカークラブ」

世界最古のチーム・シェフィールドFCが証明



国際サッカー連盟により、世界最古のサッカークラブとして認められているイングラ

ンド・サウス・ヨークシャーのシェフィールドFCが、YC&Aを「日本最古のサッカークラブ」と認め、このほどシェフィールドFCからYC&Aに証明書が贈られた。



2018ビーチサッカー大会は、8月3日、4日、5日の3日間にわたり、金沢区の海の公園・ビーチで行われた。今年も異常なほどの猛暑の中でも、参加者はレクリエーション競技としてビーチサッカーを楽しんだ。

小学男子28チーム、小学女子6チーム、一般男子4チーム、一般女子5チームが参加。それぞれのカテゴリで予選リーグ、決勝トーナメントを戦った。

猛暑の中の熱戦



法人会員一覧	
横浜マリノス(株)	横浜食品開発(株)
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
(株)横浜シミス	(株)横浜アーチスト
	(有)フリースタイル